

200 海里水域内漁業資源総合調査

渡辺健一・石田陽司・宮本孝則
浜 誠祐・楠本輝一・乃一啓司
小島 博

本調査は、水産庁から示される 200 海里海域内漁業資源総合調査委託実施要領に基づき実施するもので、昭和 52 年から調査が行われている。平成 5 年度から、資源が急激に減少しているマイワシについてのマイワシ資源等緊急調査が加わった。

平成 5 年度の本県における調査の内容と実施状況の概要を記す。

1 200 海里海域内漁業資源総合調査

1) 漁獲成績報告書の収集報告

沖合い底びき網 3 統、中型まき網 1 統について関係漁協から毎月提出される漁獲成績報告書は水産課から水産庁へ送付報告された。

2) 生物測定調査

(1) 体長測定調査

生物統計上必要な資料収集を目的とし、北灘、和田島、鞆浦漁協に市場調査員を配置した。市場調査員は、調査対象魚種（北灘 - イワシ類、和田島 - シラス、鞆浦 - イワシ類、サバ類、マアジ）について、指定期間中に月 3 回を目標に体長測定を実施し、同時に月 1 回の精密測定用のサンプルを採集した。この他、椿泊でのイワシ類、サバ類、マアジおよびマダイについては水試が調査を実施した。

(2) 魚体精密測定調査

各魚種について月 1 回精密測定（体長、体重、性および生殖線重量）を実施した。

3) 標本船調査（水試担当）

標本船による漁業、生物情報の資料を収集するため小型機船底びき網 2 隻、瀬戸内海機船船びき網 1 統、もじゃこまき網 5 隻および機船船びき網 1 統を選び操業実態細目調査表への記帳を依頼した。

4) 水揚げ統計調査

漁獲統計上必要な資料収集を目的として北灘漁協に市場調査員を配置し、北灘漁協のまき網のカタクチイワシ、マイワシ、サバ・マアジ、マルアジ、流し刺網のサワラ、小型定置網のマダイの月別銘柄別漁獲量と延べ出漁隻数の集計・報告を依頼した。椿泊漁協の小型定置網のマダイ、延縄のトラフグ、タッチウオおよび橘町漁協の延縄、釣りのトラフグとタッチウオについては水試が調査を実施した。

5) 魚卵稚仔量調査

イワシ類, アジ, サバ等の魚卵稚仔量を把握するため次の調査を実施した。卵稚仔の同定と係数は水試が実施した。

(1) 卵稚仔魚分布基本調査

対象海域(定線名): 紀伊水道(ナ - セ - 2)

調査項目: 卵稚仔

調査定点および方法: 丸特ネット垂直採取 12 点, 稚魚ネット採取 5 点

(2) 魚卵稚仔量集中調査

対象海域(定線名): 海部海岸(ナ - 2 - 2), 海部沖合(ナ - 2 - 3)

調査項目: 卵稚仔

調査定点および方法: 丸特ネット垂直採取 20 点, 稚魚ネット表層採取 13 点

2 マイワシ資源等緊急調査

南西海域のマイワシ資源の動向を把握するため次の調査を実施した。

1) 産卵期魚群分布調査

(1) 漁獲物調査

椿泊漁協のまき網 1 隻と鞆浦漁協の大型定置網 1 統のマイワシ他主要漁獲物の月別漁獲量および出漁日数を調査した。また, 大型定置網のマイワシ産卵魚漁獲物の体長測定, 精密測定を実施した。

2) 定置網入網調査

(1) 水揚げ量調査

東由岐, 穴喰漁協の小型定置網と鞆浦漁協の大型定置網のマイワシ他主要漁獲物の日別漁獲量と出漁隻数を調査した。また, 椿泊漁協小型定置網と鞆浦漁協大型定置網のマイワシ漁獲物の体長, 精密測定を実施した。

以上の調査結果は, 所定の調査表に整理し南西海区水産研究所へ送付報告した。